

政策番号	17	政策分野	保健衛生・医療
------	----	------	---------

基本方針	すべての市民が健やかにくらするように、市民ひとりひとりが主体的に心身の健康づくりに取り組めるような環境を整えるとともに、健康意識の向上を図る。また、市民の健康を守り支えるため、適切な保健医療サービスが受けられる体制を構築するとともに、健康づくり活動の育成を促す生活環境の整備を行う。さらに感染症等の市民の健康を脅かす危機が生じた際に迅速・的確に対応できる体制を確立する。
------	---

担当局	保健福祉局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン、京都市口腔保健推進実施計画、健康長寿のまち・京都食育推進プラン、きょういのちほっとプランー京都市自殺総合対策推進計画一、地方独立行政法人京都市立病院機構年度計画、京都市病院事業改革プラン、第2期京都市食の安全安心推進計画
---------------------	---

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		平成23 評価値	令和2 目標値	平成 30	令和 元	令和2年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	40～64歳男性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合(%)	43.2	49.3	-	-	45.4	44.7	45.6	97.9%	b
2	40～64歳女性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合(%)	45.4	50.9	-	-	46.8	45.8	47.8	95.8%	b
3	65歳以上男性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合(%)	57.5	63.5	-	-	55.4	53.8	59.0	91.2%	c
4	65歳以上女性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合(%)	57.7	61.2	-	-	54.7	53.2	57.5	92.6%	c
				b	c					b

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	平成30	令和元	令和2
1701	市民の健康づくり活動の推進(5指標)	a	a	b
1702	保健医療サービスの充実(1指標)	a	a	a
1703	食や生活環境の安全・安心の確保(3指標)	b	b	a
1704	健康危機に対する安全・安心の確保(2指標)	b	c	e
(4施策平均)		a	a	b

政策の客観指標総合評価	平成30	令和元	令和2
(政策の客観指標評価:施策の客観指標評価=1:0.5)	a	b	b

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		平成30	令和元	令和2※
1	正しい情報を基に、健康づくりに取り組むひとが増えている。	b	b	-
2	利用しやすく頼れる医療や検診の機関がある。	b	a	-
3	安心して食べられる食品が手に入るなど、衛生的な生活環境が整っている。	b	a	-
4	公共の場では禁煙が進んでいる。	a	a	-
5	感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。	b	b	-
政策の市民生活実感調査総合評価		a	a	-

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

平成30年度		令和元年度		令和2年度※	
順位	%	順位	%	順位	%
4	90.9%	5	88.5%	-	-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	A	令和元	A	令和2	A	政策の目的が十分に達成されている
------	---	-----	---	-----	---	------------------

<原因分析>

【客観指標総合評価】

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

【市民生活実感調査総合評価】

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

【総括】

・政策の客観指標「日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合(%)」が平均c評価からb評価に向上したが、施策の客観指標評価の平均がa評価からb評価に下がったため、客観指標総合評価はb評価に留まっている。一方で、「利用しやすく頼れる医療や検診の機関がある」等の市民生活実感調査総合評価がa評価で推移していることから、総合的に判断して、当該政策の目標は「十分に達成されている」と評価できる。

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		平成30	令和元	令和2
1701	市民の健康づくり活動の推進	B	B	B
1702	保健医療サービスの充実	B	A	A
1703	食や生活環境の安全・安心の確保	A	A	A
1704	健康危機に対する安全・安心の確保	B	B	C

<今後の方向性>

①市民の健康づくり活動の推進

・115の団体・関係機関が参画する「健康長寿のまち・京都市民会議」を中心に、「いきいきポイント」や「いきいきアプリ」、平成30年度に創設した表彰制度「いきいきアワード」などの取組を通じ、京都ならではの地域力・文化力の強みをいかした健康づくりを市民ぐるみで推進して健康寿命を延伸し、平均寿命へ近づけ、笑顔でいきいきと健やかな「健康長寿のまち・京都」の実現を目指す。
・市民の健康に関するデータから地域の課題を分析し、保健師をはじめとする保健福祉センターの職員が、これまでから実施していた取組に加え、より積極的に地域に出向き、市民に身近な地域で地域特性に応じた健康づくりを推進する。

②地方独立行政法人京都市立病院機構における保健医療サービスの充実

・市立病院においては、独法化以降整備・充実させた医療機能を生かし、政策医療を中心に高度な急性期医療を提供する。
・京北病院においては、市立病院との一体的運営を進めるとともに、訪問診療・訪問看護の展開による在宅医療機能の強化等、引き続き、地域に根差した医療・介護を提供する。
・新型コロナウイルス感染症対応においては、京都市の帰国者・接触者相談センターと連携しつつ、積極的に患者を受け入れ、治療に当たっていく。

③食や生活環境の安全・安心の確保

・食品等事業者及び市民に対する食の安全・安心に対する意識向上と正しい知識の普及に向けた啓発事業を行い、食の安全性が確保され、安心して食生活を営むことができる京のまちの実現を目指す。
・学校における喫煙防止教育の実施など、教育委員会と連携した取組や、禁煙推進に取り組む民間団体との連携、共汗・融合の観点から総合的な施策の推進に取り組んでいく。

④健康危機に対する安全・安心の確保

・腸管出血性大腸菌などの感染症や食中毒等の発生に備え、市内の医療機関等との連携により迅速・的確な予防とまん延防止の取組を進める。
・インフルエンザの感染拡大防止のため、予防接種の勧奨、手洗い・うがいの励行等の予防方法について、インターネットや啓発チラシを通して広く市民や関係団体へ周知する。
・新型コロナウイルス感染症については、府及び市内医療機関等と連携を図り、適切な医療の提供や必要な検査の実施に向けた体制の拡充のほか、徹底的な積極的疫学調査の実施など、感染拡大防止に向けた取組を進める。

政策名	17	保健衛生・医療			
指標名		40～64歳男性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（％）			
担当部室		健康長寿のまち・京都推進室		連絡先	2 2 2－3 4 1 9
1 指標の説明					
特定健診において、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
生活習慣の改善による健康づくりの成果を示す指標			算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ		
4 数値					
10年後（令和2年度）の目標値		平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠	
		43.2	49.3	中長期目標を達成するために、令和2年度に達成すべき数値	
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	単年度目標値	
				数値	根拠
数値	45.4	44.7	0.7ポイント減	45.6	達成度
				中長期目標を達成するために当該年度（平成30年度）達成すべき数値	
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	
数値	-	53.0	令和4年度	84.3%	「健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン（平成30年度～令和4年度）」に基づく目標値
5 評価基準					
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：95%以上～100%未満 c：90%以上～95%未満 d：85%以上～90%未満 e：85%未満					
6 基準説明					
目標達成度100%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。（平成30年度45.6％、令和元年度47.5％、令和2年度49.3％、令和3年度51.2％、令和4年度53.0％）					
7 評価結果					
平成30	令和元	令和2			
-	-	b			

指標名		40～64歳女性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（％）					
担当部室		健康長寿のまち・京都推進室	連絡先	2 2 2－3 4 1 9			
1 指標の説明							
特定健診において，日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合							
2 指標の意味		3 算出方法・出典等					
生活習慣の改善による健康づくりの成果を示す指標		算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から，日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ					
4 数値							
10年後（令和2年度）の目標値		平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠			
		45.4	50.9	中長期目標を達成するために，令和2年度に達成すべき数値			
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	単年度目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	46.8	45.8	1ポイント減	47.8	中長期目標を達成するために当該年度（平成30年度）達成すべき数値	95.8%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	54.0	令和4年度	84.8%	「健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン（平成30年度～令和4年度）」に基づく目標値		
5 評価基準		6 基準説明			7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：95%以上～100%未満 c：90%以上～95%未満 d：85%以上～90%未満 e：85%未満		目標達成度100%以上をa，以下5%刻みで基準を設定した。（平成30年度47.8%，令和元年度49.3%，令和2年度50.9%，令和3年度52.4%，令和4年度54.0%）			平成30	令和元	令和2
					-	-	b

政策名	17	保健衛生・医療					
指標名	65歳以上男性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（％）						
担当部室	健康長寿のまち・京都推進室		連絡先	2 2 2－3 4 1 9			
1 指標の説明							
特定健診及び後期高齢者健診において、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合							
2 指標の意味							
生活習慣の改善による健康づくりの成果を示す指標		3 算出方法・出典等					
		算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者及び京都市後期高齢者健康診査受診者実績から、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ					
4 数値							
10年後（令和2年度）の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠				
	57.5	63.5	中長期目標を達成するために、令和2年度に達成すべき数値				
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値			
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度	
数値	55.4	53.8	1.6ポイント減	59.0	中長期目標を達成するために当該年度（平成30年度）達成すべき数値	91.2%	
	全国順位	中長期目標					
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値	-	68.0	令和4年度	79.1%	「健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン（平成30年度～令和4年度）」に基づく目標値		
5 評価基準					備考	・「健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン（平成30年度～令和4年度）」の策定に伴い、目標値を更新。 ・データ公表時期の関係から、平成30年度数値が最新値となる。	
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：95%以上～100%未満 c：90%以上～95%未満 d：85%以上～90%未満 e：85%未満							
6 基準説明					7 評価結果		
目標達成度100%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。（平成30年度59.0％、令和元年度61.3％、令和2年度63.5％、令和3年度65.8％、令和4年度68.0％）					平成30	令和元	令和2
					-	-	C

指標名		65歳以上女性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（％）					
担当部室		健康長寿のまち・京都推進室		連絡先		2 2 2－3 4 1 9	
1 指標の説明							
特定健診及び後期高齢者健診において、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合							
2 指標の意味							
生活習慣の改善による健康づくりの成果を示す指標				3 算出方法・出典等			
				算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者及び京都市後期高齢者健康診査受診者実績から、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ			
4 数値							
10年後（令和2年度）の目標値		平成23年度評価値		令和2年度目標値		根拠	
		57.7		61.2		中長期目標を達成するために、令和2年度に達成すべき数値	
	前回数値	最新数値		推移	単年度目標値		
	平成29年度	平成30年度			数値	根拠	達成度
数値	54.7	53.2		1.5ポイント減	57.5	中長期目標を達成するために当該年度（平成30年度）達成すべき数値	92.6%
	全国順位	中長期目標					備考
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値	-	65.0	令和4年度	81.8%	「健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン（平成30年度～令和4年度）」に基づく目標値		
5 評価基準							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：95%以上～100%未満 c：90%以上～95%未満 d：85%以上～90%未満 e：85%未満				6 基準説明			
				目標達成度100%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。（平成30年度57.5％、令和元年度59.4％、令和2年度61.2％、令和3年度63.1％、令和4年度65.0％）			
7 評価結果							
平成30	令和元	令和2					
-	-	C					